

「課題名：脊髄性筋萎縮症（SMA）における髄液バイオマーカー測定に関する研究」
について

○ 研究の意義・目的

SMAは脊髄の運動神経細胞の病変によって筋萎縮をおこす疾患です。昨今、新規治療薬の開発が著しく進歩している一方で、疾患の活動性や治療への反応性を予測する因子については明らかになっていない部分が多くあります。これらを予測する因子として、髄液中のバイオマーカー候補となる物質を測定し評価・検討することを目的としています。

○ 研究対象者

2018年3月1日から2026年3月31日までに、広島大学病院小児科を受診され、脊髄性筋萎縮症の診断で加療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を転記し、診療で採取した髄液の残りを使用して、髄液中の物質を測定した結果から得られた情報を用いて行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、病歴です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 小児科学 助教 小林 良行

○ 研究期間 委員会承認後～ 2027年 3月 31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

